



MIFF2026

東南アジア最大規模の家具見本市が来場事前登録を開始



第32回「マレーシア国際家具見本市(MIFF)」の来場者登録が正式に開始された。会期は2026年3月4日(水)～3月7日(土)、会場はマレーシア・インターナショナル・トレード&エキシビション・センター(MITEC)およびワールド・トレード・センター・クアラルンプール(WTCKL)の2会場で開催される。「1つの見本市、2つの会場、17のホール」という独自のコンセプトのもと開催される MIFF 2026 は、世界中のバイヤーとサプライヤーが集うアジアの主要なビジネスハブとして注目を集めている。

今年3月に開催された MIFF 2025 では、会期中の成約総額が前年比3%増の約13億1,000万米ドルに達するという、過去最高水準の成果を記録した。また、2025年の展示会には、120の国と地域から19,556名の業界関係者が来場し、計10㎡の展示スペースに出展した742社の出展企業と活発なビジネス交流が行われていた。

1995年の初開催以来、MIFFは東南アジア最大の輸出に特化した家具見本市へと発展し、その場で商談が成立する「リアルタイムビジネス展」として世界的な評価を確立している。

この点について、MIFFゼネラルマネージャーのケ

リー・リム氏は、「30年以上にわたる実績を持つ MIFF は、毎年リピート出展・来場する多くの企業とバイヤーに支えられた、信頼の置けるマーケットプレイスです。バイヤーは単に視察のために来場するのではなく、その場で注文や契約のために訪れます。出展者に対する厳格な審査プロセスにより、バイヤーは信頼できる供給者と効率的に出会うことができ、貴重な時間を節約できます」とコメントしている。

マレーシア製の木製家庭用・オフィス家具の品揃えが豊富なことで知られる MIFF では、来場者が効率的に製品を探せるよう、それぞれの会場にてカテゴリ別に展示するなど工夫している。また、卓越性と革新性への取り組みも高く評価されており、2024年に実施したサステナビリティ推進の一環である「植樹キャンペーン」が、マレーシア会議展示主催者・供給者協会(MACEOS)より「イベントテクノロジー優秀賞(Merit Award for Event Technology Excellence)」を受賞している。

来年開催される「MIFF 2026」では、来場者に今まで以上に魅力的な体験をしてもらうため、以下のホスピタリティプログラムを用意している。

① Valued Visitor Privilege (VVP) プログラム：初

めて参加する早期事前登録の海外来場者を対象に、無料宿泊を提供。

② Hosted Buyer プログラム：海外からグループで訪れるバイヤー団体に、特別な特典やサポートを提供。

③ エアポート・ファストトラックサービス：登録済みの海外バイヤーに対し、クアラルンプール国際空港（ターミナル1）での優先入国手続きを実施。

なお、ホスピタリティについては、「MIFFのすべてのサービスは、来場者がビジネスの目標を達成できるような支援を目的としています。登録等の費用軽減から、移動や滞在の利便性向上に至るまで、私たちのホスピタリティプログラムは、バイヤーが展示会での調達やビジネス関係構築に専念できるように考えられています」とケリー・リム氏は補足している。

MIFF2026では、デザインイノベーション、テクノロジー、そしてサステナビリティをテーマに、以下の多彩な取り組みを展開する。

① The xOrdinary Showcase、KL iDesign Week、My Favourite International Design (MFID) アワード等。

② MIFF Furniture Design Competition (FDC) 2026は、「Playful. Practical. Purposeful : Furniture for Generation Alpha」をテーマに、子ども部屋用家具のデザインを募集。応募締め切りは2025年12月1日。新設のMIFF FDC Clubでは、デザイナー・メーカー・バイヤーの年間を通じて交流を促進させる。

③ MIFF Furniverse：インタラクティブなフロアプラン、出展者向けリード管理機能、直感的なナビゲーションツール、パーソナライズされたマッチングサービスなどを備えた、進化したデジタルエコシステム。

④ 受賞歴を持つ「植樹キャンペーン」を再び実施し、サステナビリティへの継続的な取り組みを強化。変化を続ける世界のサプライチェーンの中で、マレーシアは「China+1」として調達の主要な戦略国として注目されている。

優れた職人技、洗練されたデザイン力、高い供給信頼性、そして強固な輸出体制を有するASEAN地域は、いまやグローバルバイヤーにとってますます重要な調達拠点となっている。

マレーシアの家具産業は、世界水準の輸出インフラと熟練した人材に支えられ、年間約42億米ドルの収益を生み出している。戦略的な地理的位置と多文化的なビジネス環境により、国際取引のハブとして最適な条件を備えている。

MIFFは、世界のバイヤーとマレーシアの高品質な製造力をつなぐことで、家具輸出を牽引し、グローバル市場における地位を一層強化している。

700社を超える出展が見込まれるMIFF 2026は、東南アジアの優れた家具やグローバルな調達機会を求めるバイヤーにとって、再びビジネスの中心地となる。毎年140の国と地域から2万人以上のバイヤーが来場するMIFFは、東南アジアで最も国際的な家具見本市として、その地位を確固たるものにしている。

MIFF2026への事前登録は公式ウェブサイト (www.miff.com.my) で受け付け中！！

業界関係者は、2026年2月13日までに事前登録を行うことで、通常RM30の入場料が無料となり、効率的かつ充実した商談を実現するためのMIFF限定バイヤー特典プログラムにもアクセスできる。

また、東南アジアで最も成果の高い家具見本市での出展を希望する企業は、最適な出展ポジション確保のために、ぜひMIFF運営事務局にお問い合わせいただきたい。



MIFF 公式サイト

